

.....
~目次~

【1】TKK活動

【2】関連団体の活動

【3】行政等の活動

【4】特集:この1年の活動を振り返って(TKK 加盟団体)

- ①高次脳機能障害者 家族会 かつしか
 - ②高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ
 - ③世田谷高次脳機能障害連絡協議会
-

-----∞
【1】TKK活動

* *

-----∞
＜実践的アプローチ講習会(全3回)＞ :東京慈恵会医科大学 西新橋校 大学1号館3階講堂

●5月10日・8月23日・12月6日の全3回を終了、各回とも定員(250名)を上回るお申し込みを頂きました。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=2&readNum=135&replyNo=100

＜医療及び家族相談会＞

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=139

●6月14日、7月12日、9月13日、10月18日、11月15日の5回を終了

○第6回2月14日(日) 東京都心身障害者福祉センター、第7回3月13日(日)慈恵医大附属第三病院

13:30~16:30、各回とも相談件数4件以内、費用無料、どの会も医師及びTKK役員が相談員を務めます。

＜2016年度 実践的アプローチ講習会(全3回)＞ 東京慈恵会医科大学西新橋校1号館講堂

2013年度以来ご好評頂いております本講習会を、2016年も開催いたします。高次脳機能障害のある方々やご家族のニーズは様々です。よって必要な支援も多岐に渡ります。各分野の専門家を講師にお迎えして、支援に携わる方々に即！！役立つよう、実践的で充実した内容でお届けします。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=158

-----∞
【2】関連団体の活動

* *

-----∞
●調布ドリーム ドリームサロン—事業所開設5周年記念事業、9月5日、仙川劇場

・講演(佐藤正純氏) ・「活動紹介」「体験発表」「合唱等」 ・ドリームコンサート

====自主グループとして発足した後、NPO 法人化、そして事業所を開設して5年となるのを記念するイベントをドリームサロンとして計画しました。6月の一泊旅行先での垂れ幕づくりを皮切りに皆で少しずつ準備を進め、当日はたくさんの方にお出で頂き無事に終わりました。

屋の部(ドリームサロン)の講演はスノーボードの事故で視力を失い高次脳機能障害当事者となった元脳神経外科医・佐藤正純先生の、いかにご自分の障害を受容しつつリハビリに取り組んでこられた方の体験談で、当事者や家族への力強いエールとなりました。夜の部のドリームコンサートでは、当事者の独唱やピアノ演奏・ジャズバンド・和太鼓のグループとのコラボ・詩とパフォーマンスなど多彩な内容で、舞台と客席が一体となって楽しみ、障害のあるなしに関わらず参加するユニバーサルイベントとなりました。 === 吉岡千鶴子

●日本脳外傷友の会 15周年記念全国大会 in 東京 (品川区立総合区民会館「きゅりあん」)

11月20日(金) 全国代表者会議 11月21日(土) 講演、対談、シンポジウム <http://npo-jtbia.sakura.ne.jp/>

===11月21日(土)、日本脳外傷友の会設立15周年記念全国大会が、品川区の総合区民館「きゅりあん」大ホールで開催され、全国から800人が参集しました。

大会では、「当事者活動奨励賞受賞者」の表彰、「高次脳機能障害者のリハビリテーションと当事者・家族の役割」(上田敏氏)の講演、「こんな支援があれば僕らは働ける」(橋本圭二先生と当事者2人)の対談、「高次脳機能障害支援の現状とどうなる今後」(行政、医療、支援コーディネーター、家族)のディスカッション、最後に「支援センターの設置」を求める大会アピールが読み上げられ、盛会のうちに終了しました。前日の20日には、全国代表者会議、コーディネーター研修会、事業所職員研修会、子ども部会と4つの部会が開かれました。 === 田辺和子

●NPO法人日本失語症協議会 セミナー、12月5日、コングレスクエア中野

—失語症を知って下さい「失語を含む高次脳機能障害者の支援のあり方を探る！」

===内閣府主催障害者週間セミナーの会場は100名弱の参加者で熱気があふれました。今回は27年度にNPO法人失語症協議会の高次脳機能障害者の就労全国調査結果(報告:山本 ST)を基に、高次脳機能障害者の就労問題に視点を置きました。

(社団)脳損傷ケアリングコミュニティ学会の長谷川幹代表の失語症解説・日本脳外傷友の会東川理事長・TKK 細見理事長の現状報告等を交え、一般企業障害者雇用就労の森本氏・就労継続支援B型で就労の志村氏の発表がありました。会場からは、失語症をお持ちの高校生のお子さんの親御さんの切実な質問もあり、我々への今後の課題提示にもなりました。

今後も失語症・高次脳機能障害のある方々が「当たり前」の生活ができるように、多方面への周知と、行政への陳情を継続します。28年度4月からは『障害者差別解消法』が施行されます。合理的配慮を行うためには、失語症のある方々には何が必要かをもう一度一緒に考えましょう。今回も時間の制約が厳しく、会場の皆様との質疑応答が多く持てなかったのが悔やまれます。 === 園田尚美

【3】行政等の活動

* *

●<新宿区高次脳機能障害者支援 第2回セミナー(受託NPO法人VIVID)>11月7日、四谷保健センター
高次脳機能障害者の在宅生活実態調査「25人の事例研究最終報告会」～地域で暮らす～
報告「25人の事例研究報告書」から 報告者:NPO法人 VIVID

講演① 長谷川 幹さん(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)

② 野々垣 睦美さん(クラブハウスすてっぷなな/自立生活アシスタント)

===25人の事例研究は、NPO法人VIVIDに研究会を設けTKK理事会のご協力の下、25人の会員の方々を対象に2008年の面接聞き取り調査の結果もとに事例研究を行い、2014年同じ方への2回目の聞き取りを行った記録です。このセミナーでは、その記録をまとめた報告書を資料に、2つの講演と報告書の解説を行いました。長谷川

氏から回復の力は主体性であり、そのための支援の考え方について、野々垣氏からは具体的な自立のための支援方法について、当事者と家族、支援者にも多くの気づきをいただいた講演がありました。25人の方々の内ご家族も入れて12人が参加され、今のこと、感じたこと、などお話し下さいました。これから乗り越えていく時間に勇気を貰ったセミナーになりました。

==== 池田敦子

<港区高次脳機能障害理解促進事業（港区よりのTKK委託事業）>

① 高次脳機能障害「相談会」、毎月第3木曜日 午後、港区立障害保健福祉センター(ヒューマンプラザ)

申込先: 港区障害者福祉課精神障害者担当(TEL:03-3578-2457)

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=141&replyNo=105

② 高次脳機能障害研修会(支援者、専門化向け)、港区立男女平等参画センター「リーブラホール」

●第1回 2016年1月20日夜

講演:「高次脳機能障害の特に 社会的行動障害」 渡邊修氏(東京慈恵会科大学病院リハビリ科医師)

報告会: 事例から考える「社会的行動障害について」 当事者一人、支援者3人から報告。

○第2回 2016年2月3日(水)18:30~20:30

講演:「高次脳機能障害者の就労について」 渡邊修氏(東京慈恵会科大学病院リハビリ科医師)

報告会: 事例から考える「就労支援について」 パネリスト/当事者一人、支援者2人から報告

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=157

【4】特集:この1年の活動を振り返って

ここではTKK加盟の26団体のうち3団体ずつ、順次ご紹介しています。

(vol.25, vol.26, vol.27, vol.28, vol.29, vol.30の掲載団体はHPでご覧いただけます)

メルマガバックナンバー: <http://www.brain-tkk.com/tkk/index.php>

高次脳機能障害者 家族会 かつしか 代表:山崎サカエ

高次脳機能障害者とその家族が孤立しないように、情報交換の場として互いに教えあい励ましあい親睦を深める会です。

★奇数月第3木曜日午後、葛飾区堀切のウェルピア(障害者会館)で家族相談会、ミニデイの打ち合わせ、今後の家族会のあり方等について、会員に加え高次脳担当の区の職員、元区議会議員、臨床心理士の方々に参加していただき定例会を行っています

★「高次しょうぶミニデイ」は毎月第3土曜日9時45分から15時まで行っています。当日は上記の方々の他、保健師さん、スポーツ指導員、葛飾FMパーソナリティーの方、一般の方等、沢山のボランティアさんに支えられて運営しています。いつものスケジュールは、朝のミーティング/五十音発声練習/ラジオ体操・ストレッチ、そして「午前の活動」。昼食を挟んで午後は合唱でスタート、「午後の活動」の後、ティータイム、そして帰りのミーティングで終了です。「午前の活動」「午前の活動」では七夕飾り制作、お習字、頭の体操・間違い探し、手作りディスク、ポッチャ、福笑い、輪投げ、ミニ運動会、テーブル卓球、料理教室等を行っています。ミニデイは毎回アツという間に時間が過ぎます。

年に何回かは外に出かけるイベントも実施、バスハイク、枝豆農園の枝豆取りなどを行っています。年度末の28年3月には区民会館で反省会、いずみ記念病院 高田先生講演、食事会を企画しています。

朝のミーティング担当の方が気が付きました。家族の打ち合わせが長引き時間調節に皆で順番に今どきニュースを

話しあっていて、数年前より自発性が出てきてこれなら当事者の方が先生になれる、そうした方が良いのではと発言して下さり、順に得意なものを見つけて今日は〇〇先生、と前に出しリードしてもらっています。案外できるもんです、他人の目ってすごいですね。元小料理屋の店長さん女性、「もう十分働いたから、もう働かない」の一点張りですが家では何もしないと。母親が買い物から少し遅くなってもお米も研ぐこともなく座ったきりだそう。が、どうしてどうして、料理教室の先生をやっていただいたらお手の物。何回も家で練習してきましたと家族の方、ご苦労さまでした。みんなのこんな声で向きを変え、こんなのだろうか、ふとしたきっかけで動いている家族会です。我が家のことは見えなくても、他人は少しずつ回復しているのが分かります。皆の声で動いている、家族会かつしかです。

高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ 代表:中村千穂

ハイリハキッズは、来年1月で発足10年目を迎えます。定例会は奇数月の第3日曜に、江戸川区で実施しています。活動内容は親の話し合いと、キッズタイム(保育活動)が2時間、その後にスタッフ、学生ボランティアによる反省会が1時間あります。家庭数は30、発症原因で一番多いのは急性脳症15名(そのうち14名が就学前発症)、次に多いのは交通事故7名です。日曜開催の為、父親の参加が多く、7月例会では父親9名でグループトークを実施しました。子ども達はキッズタイムが大好きです。9月例会はキッズネットワーク(小児支援家族会連絡会)宿泊イベントと同時開催いたしました。ハロウィン衣裳をビニール、紙で製作し、ファミリープログラムの講演会会場でパレードしました。

*参加者の感想

副代表 徳田宏一郎 『あるパパは受症して間もなく、この先我が子はどうなるのか？喋れるようになるのか？歩けるようになるのか？等たくさん心配事を話してました。まるで出口の見えないトンネルの中にいるような感じでした。ほかのパパ達も いろいろな相談機関の情報も得ていたようです。』

Hちゃん(小5) 『前に会ったお友達と会えて嬉しかった。お友達と一緒に泊まれて嬉しかった。ハロウィンの仮装衣裳が作れて楽しかった。』

2016年1月で10年目を迎えるにあたり、毎回参加くださる千葉リハビリテーションセンターの先生方、鈴木勉先生、和子先生ご夫妻には感謝の気持ちでいっぱいです。皆さま、今後ともよろしく願いいたします。

世田谷高次脳機能障害連絡協議会 代表:今井雅子

<団体の成り立ち>

平成13年(2001年)から国が高次脳機能障害支援モデル事業を開始し、15年度までに「診断基準」「訓練プログラム」「支援プログラム」が作成された。参加しなかった東京都の支援体制がどうなるのか心配し、高次脳機能障害者と家族の会世田谷支部として、世田谷区に高次脳機能障害の実情とその支援策を訴えた。「趣旨採択」されたのち、政策提言の会を経て、17年(2005年)5月に「世田谷高次脳機能障害連絡協議会」は発会した。

政策提言では当事者家族、医師、セラピスト、支援者、ボランティア、行政職員など多くの人が参加し、そのまま会の活動になっている。そのため活動は、当事者家族の支援を中心に政策提言、講師派遣、そして毎年行われている「春の音コンサート」がある。

『春の音コンサート区』2016年2月28日(日)13:00~15:00 玉川区民会館(大井町線等々力駅前)当事者が障害を乗り越え、生き生きと発表する舞台は一見の価値あり。

<この一年の活動>

毎年「予算要望書」を提出し、これまでも「高次脳機能障害者移動支援」の制度化の実現などを行ってきたが、要望は遅々として進まず、という状態だったことから、昨年は「協働」を訴え、①移動支援の実態と課題の調査研究 ②失語症会話パートナーの調査研究 ③共に行う研修会 を掲げた。アンケート調査、ヒアリングなどを行い、課題の抽出、提言を苦に提出。現在行政職員サイドで予算にのせる作業を行っているところである。

以上